

新潟県立長岡高等学校長

鈴木勇二

## 1 はじめに

皆さん、おはようございます。いよいよ2学期が始まります。頑張っていきましょう。

さて、毎日、暑い日々が続いています。今日の始業式も、当初は体育館でと考えていましたが、熱中症の心配もあり、一月前と同様にリモートでの開催としました。この暑さは今後しばらく続くとの予報が出ています。部活動や屋外での活動では特に、高温の時は活動を控える、水分補給を頻繁に行う、塩分補給など熱中症対策を徹底して行いましょう。先生方にもお願いします。活動中の生徒の様子に目を配り、適切な対応をお願いします。

併せて、新型コロナウイルス感染症に対する注意も必要です。5月以降、感染は緩やかに増加しており、新潟県は全国と比べて高い数値になっています。本校でも、夏季休業中の感染が、生徒も、教職員にもありました。今日も感染による欠席連絡が来ています。第5類へと移行し、マスクの着用は必須ではなくなったわけですが、感染症対策は今も、これからも必要です。基本的な感染症対策を継続し、特に、教室の換気には気をつけましょう。

さて、皆さんはこの夏休みをどのように過ごしたのでしょうか。1，2年生は、実質8月から始まった夏休みも、部活動や和同祭などで多くの人たちが登校していました。3年生はお盆期間を除きずっと進学補習があり、図書館も毎日多くの生徒がいて、問題集や参考書を広げていました。一人一人、それぞれの過ごし方があったと思います。そして、充実した夏休みを過ごしてくれたのではないかと思います。

## 2 この夏に体験したこと、考えたこと

私もこの期間、たくさんの貴重な体験をしました。スライドを使いながらいくつか紹介したいと思います。画面共有をします。

はじめに、長岡駅前に新たにオープンした「米百俵プレイス ミライエ長岡」についてです。7月22日のオープニングセレモニーに出席し、施設を見学してきました。長岡市が整備した施設で、近くにあった互尊文庫がこの施設に入りました。広々としたスペースにたくさんの本が並び、ゆったりとした気分で本が読めます。テーブルもたくさんあり、学習室としても活用できます。ミーティングルームなどもあり、いろいろなことができる

施設だと思いました。最上階には長岡の歴史を学べるところもあり興味深かったです。皆さんも、活用してみてください。

次に、7月28日に行われた新潟県SSH生徒研究発表会です。1年生全員と理数科の2、3年生が参加しましたね。今年は、4年ぶりに生徒交流会が行われ、与えられた課題を他校の生徒と一緒にグループを作って熱心に取り組んでいました。今年の課題は長さ12cmの板を24枚使ってどれだけ長く伸ばせるかでした。優勝した班はもう少しで30cmというところまで伸ばしていました。驚きです。

次に、8月16日から18日、インターハイ水泳競技の視察で北海道に行ってきました。会場となったプールがある江別市野幌地区は明治の初期に長岡や魚沼の人たちが入植して開拓した場所だそうです。記念碑もあるということでしたが、そこには行けませんでした。水泳競技ですが17日の開会式の後すぐに競技開始、午前に予選、午後に決勝が行われ、新潟県選手は3種目で入賞しました。そのうちの一つは長岡大手高校の女子リレーでした。サブプールの脇には参加各校の応援の旗や横断幕がありました。

泊まったホテルが北海道大学のすぐ脇にあったので、18日の朝6:00から大学の構内を歩いてみました。構内のメインストリートは先が見えないくらい長かったです。農場もあり牛や羊がのんびりと草を食べていました。急ぎ足でしたが、ひと通り廻るのに一時間半かかりました。札幌市の真ん中であるにもかかわらず大学のキャンパスと言うよりも「大きな森」といった雰囲気、このようなゆったりとした大学で学べる学生がうらやましくなりました。

帰りの飛行機からの風景です。新千歳空港を出て、すぐに見えてきたのが支笏湖、遠くに美しい山が見えました。羊蹄山でしょうか。雲の上はこんな感じです。これは、秋田沖の辺りです。障害物のない海上なのに、雲は一様ではありません。なぜでしょうか。最後に島です。どこでしょうか（「粟島」です）。

以上、私のこの夏の体験でした。

このようにスライドを使って説明をしましたが、説明を聞いた皆さんと、実際に見てきた私とでは感じ方が違うと思います。長岡高校は「本物に触れる」ことを大切に、皆さんに、いろいろな場面や体験を提供しています。また、皆さん自身でもいろいろと動いてみるのが大切です。その機会を大切にしてください。

### 3 『カンパニー』

2つめです。夏期休業中、意外とバタバタしていて、読み終えた本は1冊だけでした。伊吹有喜さんの『カンパニー』です。伊吹さんは終業式で紹介した『犬がいた季節』を書いた作家です。

『カンパニー』という物語では、製薬会社に勤める40歳の男性社員が、会社の命令でバレエ団に出向となり、そこで「白鳥の湖」の公演の成功を目指すこととなります。主人公は、勝手の違うバレエ団の中で多くの魅力的な人たちと出会い、自分の生き方について考えたり、ぶつかり合ったり、支え合ったりしてお互いを理解し、公演の成功へとつなげていきます。登場人物が一人一人個性的で魅力的です。私としては、この中に出てくる高野という天才バレエダンサーとそれを支える女性トレーナーの生き方に共感を覚えました。相手の主張をしっかりと聞いて、それを受け止め、次に何をすべきか考え実行する。この流れの大切さを感じました。キーワードは「レッスン（努力）」、「パッション（情熱）」、「カンパニー（仲間）」です。是非、手に取って読んでみてください。

### 4 終わりに

以上2点、お話ししました。

さて、今日からの2学期が始まります。1年生にとっては2／9、2年生にとっては5／9、3年生にとっては8／9の学期です。それぞれの学年で、「この時期にやるべきこと」を考え、実践しましょう。特に、3年生にとっては受験に向けた大切な、そしてメンタル的にも負荷のかかる学期となります。推薦入試の校内選考も始まります。全ての生徒が目標を達成できるように、私たち教職員も全力で指導していきます。また、以前も話した通り、学校生活の大半は授業であり、「授業の時間を大切にすること」＝「高校生活を充実させること」です。1、2年生は、今からこのことをしっかり理解し実行しましょう。

以上で私からの話を終わります。2学期、頑張ってください。